

あきつ



No.10 令和6年 6月14日
校長 太良木 香江

6月は熊本市の「心のきずなを深める月間」です

早いもので6月も中旬に入りました。

6月は「心のきずなを深める月間」と定め、学校・家庭・地域が互いの役割と責任を強く自覚し、日頃からのいじめ未然防止に向けての取組を全市的に推進する月間となっています。

今年度のテーマは

「みんなでいじめをなくしていこう」～思いやりの心をもって～です。

令和5年度熊本市心のアンケートでいじめを受けたと答えた児童生徒は約5000人でした。内容は「冷やかし、からかい」が最も多く、軽はずみな言動から深刻な事案に発展したケースも少なくありません。またいじめられたことを相談できなかったと回答した児童生徒が約1400人に上りました。相手の立場を考え、思いやりの心をもって他者に接することは、いじめの未然防止だけでなく、被害を拡大させないことにもつながります。本校でも以下の取組を行ってまいります。



毎月「きずなアンケート」を行い、子どもたちから出された学校生活等で気になることを担任等と話し、解決に向けて一緒に取り組んでいます。また6月17日から26日に「あのね週間」と称した教育相談を実施します。子どもたち一人一人と担任が話をし、相談しやすい環境をつくります。また不安や悩みを抱えたときに、誰にどのようにSOSを出せばよいか具体的に学ぶ場を設けます。

また自分と人との関わり方について振り返り、これからどうするとよいのか、まず自分で、そしてみんなで考えを出し合い、いじめをなくしていく行動につなげてほしいと考えています。そして人を思いやる優しい心と、いじめを止める強い心を併せ持った児童が増え、みんなが安心して生活・学習できる学校をつくっていききたいと思います。

併せまして6月6日（木）に「いじめ防止等対策委員会」を開き、本校職員と東警察署のスクールサポーター、スクールソーシャルワーカーといじめの早期発見・早期対応、未然防止について話し合いました。今後も関係機関と連携を図り、体制づくりを行ってまいります。

なお、秋津小学校のホームページに「秋津小学校いじめ防止基本方針」が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

6月 学校集会 校長講話 合言葉は「守ろうきみとわたしの境界線」

「心のきずなを深める月間」の校長講話として以下の話をしました。

「境界線」は「ここから先は勝手に入らないで！」を示すものです。「境界線」を守るとみんなが安心して安全に生活することができます。境界線には①物の境界線②体の境界線③心の境界線の3つがあります。私たちが人にかける言葉は、心にあるものが形となって表れたものです。その言葉がたった一秒程度の短い言葉でも、人を嬉しくも悲しくもさせます。そして実は人が悲しくなる言葉を言った場合も、その人の心にも傷がつき、その傷がやがて痛みとなって自分の心に表れてきます。

自分の境界線も他の人の境界線も大切に守る必要があります。もし自分の境界線が破られた場合には相手に「嫌です」と言うか、信頼できる人に相談して助けを求めてください。



【 学校教育目標 】

一人一人が輝く、笑顔あふれる学校
自ら考え主体的に行動する人を育む教育の推進
～考える子・チャレンジする子・つながり合う子～



6月の生活目標

気持ちのよいあいさつをしよう
～さわやかあいさつ～

あ
き
つ
あかるいあいさつ
きれいな学校
つながるこころ
つながり合おう

ホームページ
QRコード